

第六十六回
帝國議會
貴族院

風水害ニ因ル被害者ニ對スル
租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免
猶豫等ニ關スル法律案

委員氏名

委員長 子爵會我 祐邦君
副委員長 男爵松岡 均平君

公爵山縣 有道君

侯爵松平 康昌君

伯爵樺山 愛輔君

子爵野村 益三君

子爵裏松 友光君

岡 喜七郎君

男爵松平外與麿君

男爵本多 政樹君

西野 元君

三木與吉郎君

山本 米三君

野村 徳七君

山上 岩二君

昭和九年十二月六日(木曜日)午前十時十
四分開會

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今カラ委員

會ヲ開會イタシマス、政府ニ向ヒマシテ此
法案ノ提出ノ理由其他ヲ細カク御説明ヲ願
ヒタイ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 今日ハ大臣

ガ出席イタシマシテ御説明申上ゲル積リデ
居リマシタノデアリマスルガ、生憎差繰リ
難イ要件ノ爲ニ出ラレマセヌ、甚ダ相濟マ
ヌコトト思ッテ居リマス、從ヒマシテ私カラ
御説明ヲ申上ゲマス、本案ノ大體ノ要旨ニ
付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ大藏大
臣ヨリ述べラレマシタ通りデアリマスガ、
茲ニ改メテ御説明申上ゲタイト存ジマス、
本案ハ主トシテ北陸地方及關西地方ニ起リ
マシタ風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税上
ノ救済ニ關スル法律案デアリマス、御承知
ノ如ク本年七月十一日ノ北陸地方及九月二
十一日ノ關西地方ノ風水害ハ、其被害區域
ガ廣範圍ニ互リ、其被害程度モ甚大ナルモ
ノアリ、且ツ小所得者ガ比較的多數ヲ占メテ
居ルヤウナ次第デアリマシテ、是等被害者
ノ中ニハ住宅又ハ家財、或ハ營業用ニ供ス
ル家屋、機械、器具等ヲ流出又ハ破壊セラ
レテ、著シク擔稅力ヲ失ッタ者ガ少クナイ

ノデアリマス、斯ノ如キ被害者ニ對スル救
済ト致シマシテハ、現行所得稅法又ハ營業
收益稅法ノ所得金額、又ハ純益金額ノ減損
更訂等ノ規定デハ其救済ニ十分デナイ點ガ
アリマス、例ヘバ、納稅者ガ其住宅又ハ家
財等ヲ著シク破壊セラレ、生活ノ本據ヲ脅
カサレタル場合ニ於テモ、現行稅法ノ範圍
内ニ於テハ租税ノ減免、又ハ徵收猶豫ヲ爲
スノ途ナク、同情スベキ事情ニアルヲ以テ、
從來ノ大災害ノ發生イタシマシタ際ニ於ケ
ル先例ニモ鑑ミ、此法律案ヲ提出イタシマ
シタヤウナ次第デアリマス、先ヅ所得稅及
營業收益稅ノ輕減又ハ免除ニ付テ説明イタ
シマス、此兩度ノ風水害ニ因リ自己ノ住宅
又ハ家財、或ハ營業用ニ供スル家屋、機械、
器具等ノ如キモノヲ流出又ハ破壊セラレタ
ルガ如キ著シキ損害ヲ受ケ、甚シク擔稅力
ヲ失ヒマシタル個人ニ對シマシテ、昭和九
年分第三種所得稅第二期分以降、又ハ營業
收益稅ノ後期分ヲ免除又ハ輕減スル積リデ
アリマス、輕減又ハ免除ノ方法等ニ付キマシ
テハ、大體今回ノ風水害ノ實情ニ鑑ミマシ
テ、小所得者ニ對シテハ成ルベク寛大ニ處

理イタス見込デアリマス、次ニ課税上ノ特
例ト致シマシテハ、所得金額又ハ純益金額
ノ減損更訂ノ請求ガアリリマシタ場合ニ、
風水害ニ因リタル損害ノ見積金額ヲ普通ノ
經費ト同様ニ取扱ヒ、所得金額又ハ純益金
額ヲ更訂シテ、負擔ノ輕減ヲ圖ル積リデア
リマス、又風水害ニ因リ著シク所得又ハ純
益ノ減少スベシト認メラルル如キ被害者ノ
昭和十年分ノ所得金額又ハ純益金額ノ決定
ハ、現行法ノ成條ニ依ラズ、豫算ヲ以テ決
定スルコトニ致ス見込デアリマス、尙ホ免
除又ハ輕減セラルル所得稅及營業收益稅ニ
付キマシテハ、其處分ノ確定スル迄稅金ノ
徵收ヲ猶豫スルノ規定ヲ設ケマシタ、其外
免除又ハ輕減セラレタル租税ハ、先例ニ依
リ總テノ資格要件ニ何等ノ影響ガナイト云
フコトヲ規定イタシマシタ、以上ハ大體ノ
説明デアリマスガ、尙ホ御質問ニ依リマシ
テ詳細御答申上ゲタイト思ヒマス

○委員長(子爵會我祐邦君) 只今ノ政府ノ
説明ニ對シマシテ、御質問ガゴザイマスル
ナラバドウゾ……

○野村徳七君 第三種ノ所得稅ニ關シマシ

テ寛大ナ處置ヲ執ラレル御方針ハ大變適當ナ御處置ト考ヘマスガ、第一種即チ法人ノ被害者ニ對シマシテハ、擔稅力アリト云フ見地カラ今回ノ場合ハ御考慮ニナツテ居リマセヌノデアリマスカ、伺ヒマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) ソレハ御承知ノヤウニ所得稅ニ於ケル第一種ノ所得、即チ法人所得ハ、總收入カラ總支出ヲ差引イタモノヲ所得トシテ課稅スルノデアリマシテ、風水害ニ依ル損害ハ支出トシテ益金カラ差引カレルノデアリマス、敢テ特ニ減免稅ヲシナイデモ、自カラ從來ノ所得稅法ノ規定ノ上デ減稅サレルコトニナルノデアリマシテ、ソレ故ニ此度ノ減免稅ノ中ニ第一種ノ所得ト云フコトハ書イテナイノデゴザイマス

○西野元君 本法施行ニ伴ヒマシテ、昭和九年度ノ歳入ニ減收ヲ來スベキ御見込ノ金額竝ニ其補填ニ付テノ御計畫ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(中島鐵平君) 本法ノ減免ニ依リマシテ、減收ヲ來スト只今政府デ見込シテ居リマスノハ、極ク大體ノ所デアリマスガ昭和九年度ニ於キマシテハ約百三十六萬圓位ノ程度デアリマス、補填ノ途ニ付キマ

シテハ、本年度ノ自然増收ガ相當アルト思ヒマスカラシテ、ソレニ依テ補フ積リデアリマス

○西野元君 此年度ノ……、マダ年度半バノコトデアリマスカラ、的確ナコトハ無論分ラヌト存ジマスガ、大體少クトモ此位ノ自然増收ガアルト云フ、凡ソノ御見込ノ金額ヲ伺ヘレバ、私ハ仕合セト思ヒマス

○政府委員(中島鐵平君) マダ年度半バデアリマシテ、ドレ位ノ自然増收ガアリマスカ、確實ナコトハ無論申上ゲルコトハ出來マセヌガ、七月ノ現計ハ、先般既ニ官報ニ於テ發表ニナツテ居リマスガ、相當ノ額ノ増收ガアルノデハナイカト思ヒマス、今後百三十六萬圓位ノ程度ノモノハ補フコトガ出來ルト考ヘテ居リマス

○山本米三君 此法案ノ第二條ニ於キマシテ、衆議院ノ本會議決岩本君カラ質疑ガアツタノデゴザイマスルガ、第三種所得稅ト云フ中ニ總テガ……此第二條ノ減損更訂ト云フコトノ爲ニ、山林ノ所得ト云フモノガ除外サレテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、之ニ對シマシテハ政府ノ方カラモ御答ガアリマシテ、更ニ委員會デ詳細ニ御答辯ニナルト云フコトデゴザイマスガ、我々マダ其衆議院ノ委員會ノ模様ハ承ッテ居リマセヌ

ノデゴザイマスガ、是ハ如何様ナコトニナルノデゴザイマセウカ、單リ山林ノ所得ダケガ除外サレルト云フコトハ、甚ダ以テ其當ヲ得ヌヤウニ考ヘルノデアリマス、ドウカ詳細ナル政府委員ノ御説明ヲ御願ヒラスル次第デアリマス

○政府委員(石渡莊太郎君) 山林ノ所得ニ關シマシテ、衆議院ノ委員會ニ於テ御質問ノゴザイマシタコトハ事實デゴザイマス、併ナガラ此山林ノ所得ニ減損更訂ヲ行ハナイト申シマスルコトハ、是ハ所得稅法ニサウ規定シテアルノデゴザイマスルガ、此第二條ノ減損更訂ノ規定ノ問題デハゴザイマセヌノデ、寧ロドチラカト申シマスルト、此第一條ノ風水害ニ因ル所ノ被害者ガ納付スベキ所ノ昭和九年度ノ第三種所得稅、個人ノ營業所得稅ニ付テノ問題デゴザイマス、ソレデ第三種所得稅ノ中ニハ山林ノ所得稅ト云フモノハ含ンデ居リマス、從ヒマシテ山林ダケヲ除外イタシテ居ル關係デゴザイマセヌ、唯問題ハ御手許ニ差上ゲマシタ此風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ對スル法律案命令要領ト云フモノノ中ニ

書イテゴザイマスル、風水害ニ因リマシテ自己ノ所有ニ係ル其住宅又ハ家財ノ流失破壊セラレタアル、其家財ト云フ中ニ特ニ

山林ト云フコトヲ、此中ニ入レルヤウニシテ欲シイ、山林ニ付テ著シク損害ヲ受ケタ場合ニ於テハ、ソレヲ輕減免除ノ中ニ入レテ吳レト、斯ウ云フ御話デゴザイマシタ、ソレデ此第一條ハ住宅家財等、其生活ノ本據ニ付テ著シク損害ヲ受ケタモノデゴザイマシテ、從テ住宅家財ニ著シク損害ヲ受ケマスレバ、如何ナル所得デアッテモ輕減免除ハ致シマス、併ナガラ住宅家財ニ損害ヲ受ケマセヌケレバ、如何ナル所得デアッテモ輕減免除ハ受ケマセヌガ、今回ノ災害ニ付テ特ニ山林ニ付テ其點ヲ政府ニ於テ考慮シテ欲シイト云フ御話ガ屢、ゴザイマシタ、ソレデ其御話ニ對シマシテハ政府ト致シマシテハ省令ヲ制定致シマスル場合ニ、果シテサウ云フモノガ入り得ルカドウカト云フコトニ付テ、十分考慮研究ヲシテ見タイ、若シ此場合省令ニ入り得ナイ場合ニ付キマシテハ、サウ云フ納稅者ニシテ徵收上非常ニ困難ヲ感ズルト云フ向キノアル場合ニ於テハ、何トカ適當ナル方法ヲ考慮シテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ次第デゴザイマス

○子爵裏松友光君 只今御提出ニナリマシタ法案ノ斯様ナ大キナ風水害ニ於キマシテハ、此被害者ニ對シテ非常ニ、斯カル法律

案ニ依ッテ擁護ヲサレマスケレドモ、斯ク迄

大キナ風水害ニナラナイ、小サナ風水害ニ
對シテハドンナモノデアラウカ、サウスル
ト小サイ風水害ニ對シテ被害ヲ蒙ッタモノ
ト、大キナ風水害ニ對シテ被害ヲ蒙ッタモ
ノトノ間ノ權衡ガ取レナイデヤナカラ
ウカ、斯ウ云フ風ナ議論ガゴザイマス、ソレ
デ何カ特ニ、度ミ斯ウ云フ風ナ風水害ト
云フモノガ起ル現狀ニアリマスカラ、特ニ
何カ機關デモ設ケテ置ク、サウシテソレ等
ノ救済ノ途ヲ講ジテ置クト云フコトガ必要
デナカラウカト云フ議論ガアルヤウデアリ
マスガ、ソレニ付テハドウ云フ風ニ御考デ
アリマスカ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 只今裏松子

爵ノ御説ハ、風水害ノ如キ天災ハ屢、今後
モアラウカラ、左様ナ場合ニ處スルニ付テ

何カ機關ヲ設ケタラドウカト云フ御質問デ

アリマスガ、從來モ御承知ノヤウニ斯ウ云

フ大キナ災害ノ場合ニハ何時モ減免税ノ取

扱ヲシテ參ッテノデアリマシテ、災害ノ都度

左様ナ處置ヲ執ッテ參ッテノデアリマスガ、

唯政府限リトシテ左様ナ處置ヲ致ス權能ヲ

持ッテ居リマセヌ、其點カラ豫メ法律ヲ設ケ

テ斯カル災害ノ場合ニハ、適宜政府ニ於テ

減免税ヲ爲シ得ルヤウナ立法ヲシテハドウ

カト云フヤウナ御質問ガ衆議院ニ於テモゴ

ザイマシタ、大藏大臣ガ之ニ對シテ答辯シ

テ居リマスルガ、政府トシテモ左様ナコト

ハ願ハシイコトト思ッテ居リマス、何トカ考

ヘタ次第ダト云フコトヲ答辯シテ居リマ

ス、從ヒマシテ今後政府ニ於テ一般災害ノ

場合ニ、稅法上處スル途ニ付テノ根本法ヲ

考ヘルコトニ相成ルドラウト私ハ考ヘテ居

ルノデアリマスガ、今裏松子爵ノ御質問ハ

左様ナ方法ヲ設ケルナラバソレデ宜シイト

云フ御説デアリマスルカ、又別ニ御考ニナッ

テノ御質問デアリマスガ、其處ヲモウ一

遍……

○子爵裏松友光君 只今政務次官カラノ御

話ノ通り、何カサウ云フヤウナ法規デモ出

來レバ極メテ結構デアル、斯ウ思フノデア

リマス

○男爵松平外與磨君 此命令要項ニ「風水

害ニ因リ自己ノ所有ニ係ル住宅又ハ家財」

云々ト規定シテアリマスカラ、個人ノ相當

土地ヲ持ッテ居リマシテ、其土地ガ今度ノ風

水害ニ於テ著シク地力ガ荒サレ、ソレニ依ッ

テ生ズル所ノ農產物ノ收入ガ全部無クナ

ル、土地持デアリマスカラ、一方租稅トシ

テ地租ハ賦課サレルト云フヤウナ關係デア

リマシテ、地租ノ減免ト云フコトハ之ニ載ッ

テ居リマセヌノデアリマスルガ、矢張り「自

己ノ所有ニ係ル住宅又ハ家財」ト云フ中ニ

包含サレルノデアリマスガ、今御話ヲ伺ヒ

マスト個人ノ第三種所得、營業收益稅ト云

フモノダケデアリマスカラ、地租ノ關係ハ

全然含シテ居ラヌヤウニモ解釋出來ルノデ

アリマスガ、其點ドウ云フ關係ニナッテ居リ

マスカ御説明願ヒタイ

○政府委員(中島鐵平君) 地租ノ方ハ御承

知ノ通り地租法ノ運用ニ依リマシテ、荒地デ

アリマスレバ荒地ニ免租ノ途ヲ執リマス、

收穫皆無デアリマスレバ收穫皆無ノアノ條

項ニアル地租法ノ適用ニ依リマシテ、ソレゾ

レ救済サレルデアリマス、其外デアリマス

○男爵松平與磨君 天災ニ因ル所ノ被害ニ

付キマシテハ、只今議案ニナッテ居リマス

モノモ可ナリ大キイ問題デゴザイマスガ、

東北地方ノ冷害ニ因ル所ノ農產物ノ被害、

殆ド農產物ヲ以テ唯一ノ生命ト致シテ居ル

ノデアリマスカラ、其農民達ノ所得力ト云

フモノハ、ソレニ依ッテ非常ニ減殺サレテ居

ルモノダト思ヒマス、勿論土地ヲ持チ、ソ

レニ依ッテ生產物ヲ出シテ居リマスカラ、無

論當然地租ノ關係モゴザイマスケレドモ、

個人ノ所得ト云フ點カラ見マシテモ、餘程

ノ減殺力ヲ感ズルヤウナ關係デアリマスガ

ラ、各方面カラ之ガ救済ニ付キマシテノ色

色ノ陳情モ出シテ居リマスルガ、東北地方

ノ冷害ト云フコトニ付キマシテハ、所謂土

地ノ關係ダケニ止メテ置イテ、所謂斯ノ如

キ特別法ノ規定ハ受ケナクテモ宜イト云フ

御考デアリマスルカ、其點ヲ一ツ承リタイ

○政府委員(石渡莊太郎君) 東北ノ冷害、

是ハ主トシテ田畑ノ所得及地租ニ關スル間

題デゴザイマス、主トシテ田畑デゴザイ

マスルガ、東北ニ於キマシテ本年其爲ニ

收穫皆無ニ因リマシテ免除イタシマシタモ

ノハ相當大キナ範圍ニ上ボッテ居リマス、

所得稅ニ於キマシテハ是ハ田畑ノ所得デ

アリマスレバ、今日所得稅法ニ於キマシテ

減損更訂ノ規定ガゴザイマスノデ、所得ガ

著シク減ッテ場合ニ於キマシテハ、其減リマ

シタヤウニ更訂イタシマス、何故ソレデハ

特別立法ヲ之ニ適用イタサナイカト、斯ウ

云フ御疑問ガアルカト思フノデゴザイマス

ルガ、是ハ本法ハ風水害ニ因リマシテ自分

ノ財產ヲ積極的ニ破壊セラレタルモノニ對

スル所ノ、今日ノ法律ノ及バザル所ノ救済

方法デアリマシテ、從來此災害ノ場合ニ於

キマスル租稅ノ減免猶豫ト云フモノハ、總

テ災害ニ依リマシテ積極的ノ損害ヲ受ケタ

ト云フモノニ對シマスル現行法上ノ缺陷ヲ

補充イタスモノデゴザイマス、先例ニ則リマシテ其規定ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山上岩二君 擔稅力ヲ著シク破壊ト言ヒ減殺ト言フ事柄ガアリマスガ、是ハドウ云フ程度ノ何デゴザイマスカ、命令デ出ルノデアラウトハ思ヒマスルガ……ソレカラ此場合ト、法律ニアリマスル減損更訂トノ關係ハドウナリマスカ

○政府委員(石渡莊太郎君) 著シク擔稅力ヲ減殺セラレタト申シマスルコトハ、省令ニ於キマシテ規定イタス積リデゴザイマス、大體ニ於キマシテ自己ノ所有ニ係ル其住宅又ハ家財ノ半分以上ヲ流失破壊セラレタト云フ程度ニ致シタイト存ジマス、ソレカラ普通ノ減損更訂ハ本法ノ外ニアル譯デゴザイマスルカラ、本人ガ減損更訂ニ依リマシテモ、又ハ本法ニ依ル所ノ減免猶豫ニ依リマスルトモ、ソレハ本人ノ希望イタシマス通り、何レニカニ依リ得ル、斯ウ致シタイト思ッテ居リマス、但シ本法ニ於キマシテ第二條ニ於キマシテハ、普通ノ減損更訂以上ニ此財産ノ、固定資産ノ破壊ト云フモノノ損害ヲ特別ニ減損更訂ノ經費ノ方ニ見ルト云フ規定ヲ置キマシテ、減損更訂ノ範圍ヲ擴張イタシタイト存ジテ居リマス

○野村徳七君 私ハ先ノ法人ノ所得ノ質問ニ關聯シマシテ、モウ一二伺ヒタイノデアリマス、法人中今回ノ風水害デ可ナリ大キナ損害ヲ受ケタ者ガ相當アルヤウデアリマス、ソレハ法規ニ依ル決算ノ手續上、今期ノ減損ハ決算ニ明記サレマスカラシテ、之ヲソレニ依ッテ次ノ納稅義務ガ生ズル譯デアリマスカラ、前年度ノ收益ニ依ル納稅義務ハ一切考慮セナクトモ、妥當ナ途ヲ辿ッテ行クト云フコトデ無論アリマスケレドモ、併シ此處ニ異常ナ大キナ損害ヲ被リマシタ者デ、今後立直シガ出來ナイ、大キナ減損ヲ其儘繰越シテ繼續シテ行ク場合ニハ、此風水害ニ依リマスル損害ハ回復シ得ナイモノデアリマシテ、同時ニ前年度ニ依ル税金ハ義務ヲ完了シナケレバナラスト云フ實情ニアルノデアリマス、事實サウデアルト思ヒマスガ、ドウ御考ニナッテ居リマスカ、モウ一つ伺ヒタイノハ法人ノ場合ニ可ナリ今ノヤウナ、先キ申シマスルヤウナ狀況デアリマシテ、前年度ニハ可ナリ收益ガ多カッテ、今期相當ナ納稅ヲ必要トスル、併シ長イ間不況ヲ續ケテ來テ居ッテ、幸ヒ一兩年非常ニ回復シテ來タ、然ルニ今回非常ナ打撃ヲ被ッテ、斯ウ云フモノニ對シマシテハ、矢張り納稅猶豫ト云フヤウナコトガ考慮サレ

ルノデアリマスカ如何デアリマスカ、サウ云フ二ツヲ御尋シタイ

○政府委員(石渡莊太郎君) 只今ノ御尋デゴザイマスルガ、法人ノ所得ニ付キマシテハ先程主稅局長カラ御話モアリマシタ通り、今期ノ決算ニ於キマシテ其風水害……間違ヒマシタ、政務次官カラ御答イタシマシタ通り、本期ノ決算ニ於キマシテ風水害ニ依リマスル損害ト云フモノガ現レテ來ル、從ヒマシテ其風水害ニ係ル所ノ損害ト云フモノハ、稅法上見テ貫ヘルト云フ、斯ウ云フ立前ニナッテ居ルノゴザイマス、從ヒマシテ災害ニ依リマスル減免稅ノ場合ニ於キマシテ、從來共ニ此第一種所得稅ニ付キマシテ、減免稅ヲ行ツタコトハゴザイマセス、ソレハ第三種ニ於キマシテハ、法律上見テ貫ヘナイ所ヲ、此法律ニ依ッテ見テ、一方ノ損害ハ法律上當然見テ貫ヘルノデアルト云フコトノ立前カラ致シマシテ、法人ニ付キマシテ減免ヲ致シマシタ從來例ハゴザイマセス、從ヒマシテ今回モ其前例ニ基イタ次第デゴザイマシタ、從來ノ例カラ考ヘマテモ、亦其爲ニサウ特別ニ故障ガ起ツタト云フヤウニモ考ヘ得ラレナイノデゴザイマス、第二ノ御質問ノ納稅猶豫ト云フ問題デゴザイマスガ、納稅猶豫ノ問題ニ關

シマシテハ、此法人ノ所得稅ハ御承知ノ通り稅務署ニ於キマシテ隨時ニ決定イタシマシテ徵收イタシマス、從ヒマシテ一定ノ法定ノ納期、例ヘバ個人ノ所得稅、營業收益稅ノ如キ、法律上十一月三十日迄ニ納メル、一月三十一日迄ニ納メルト云フ法律上、一定イタシマシタ納期ガゴザイマセス、從ヒマシテ普通ノ法人ニ於キマシテハ大體ニ於キマシテ、納稅猶豫ヲ認メル必要アルモノハナカラウカト思フノゴザイマスルガ、併シ今回ノ災害ニ遭ヒマシタ中ニハ、隨分ヒドイ災害ヲ受ケマシテ、或ハ當分納稅猶豫ヲ致サナケレバイケナイモノモ少シハアルカト存ジマス、是等ニ付キマシテハ此法人ノ所得稅ノ決定ガ、稅務署ニ於キマシテ隨時ニ決定イタシ、徵收イタスノデゴザイマスカラ、餘程納稅上困ルト思ハレルモノニ付キマシテハ、稅務署ニ於キマシテ實際上其面倒ヲ見ルコトガ出來ルト思フノデアリマス、從テ茲ニ法律ヲ以テ法人ノ納稅ノ猶豫ヲ致ス迄ノ必要ハナカラウト、斯ウ考ヘマシタ次第デゴザイマス、實際上納稅ニ差支ヘル向キニ付キマシテハ、斯ウ云フ際ノコトデゴザイマスカラ、稅務省ニ於キマシテハ十分同情ヲ以テ取扱フ見込ミデゴザイマス

○委員長(子爵實我祐邦君) 只今御質問ガ

チヨット途切レテ居ルヤウデゴザイマスガ、委員外ノ菅原君カラ、委員外トシテ發言ヲ求メラレマシタガ、發言ヲ許可シテ差支ゴザイマスマイカ、皆サンノ御意見ヲ伺ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐邦君) 御異議ガナイサウデゴザイマス

○委員外議員(菅原通敬君) 委員外ノ私ヨリ質問スルコトヲ御許シ下サイマシテ、感謝イタス者デゴザイマス、政府ニ御尋申上ガテ見タイノデアリマスガ、此法案ハ、風水害ニ因ル被害ニ對スル租税ノ減免及延期ト云フコトニナツテ居リマスガ、風水害以外ニ因ル災害ノ場合ニハ適用サレヌコトニナツテ居リマスガ、本年ノ災害ハ風水害ノ外ニ冷害、旱害等、大分損害ノ大ナルモノガアルノデアリマス、其冷害、旱害等ヲ除外サレマシタ御趣意ハ何處ニアルノデアルカ、或ハ既ニ御指示ノアツタコトカモ知レマセヌガ、改メテ伺ヒ申シマシテ甚ダ恐縮デアリマスケレドモ、御差支ガナケレバモウ一度一ツ御繰返シヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 菅原サンノ御質問ノヤウナ御趣意ノ御質問ハ衆議院ニ於キマシテモ相當アリマシタノデアリマシ

テ、此法案ニ付テ多クノ御方ノ懐カレル疑問ト察セラレルノデアリマス、此災害ヲ受ケテ居ルト云フ點カラ申セバ、被害ニ因ル災害モ、旱害冷害ニ因ル災害モ等シイモノデアツテ、被害ニ因ル被害者ニ對シテ斯カル減免税ヲスル以上、同一狀況ニアル旱害、或ハ冷害ニ因ル被害者ニ對シテモ、税法上同様ノ恩典ヲ與ヘルノガ然ルバキコトダト云フコトハ、多クノ人ニ直ニ意識サレル事柄デアルト思フノデアリマス、唯其サニ其内容ヲ考ヘテ見マサルト其處ニ差ガアルト思フノデアリマス、此度ノ法案ハ御承知ノヤウニ住宅或ハ家財、或ハ又營業收益税ノ場合ニ付テ申シマスト機械、器具、商品、或ハ原料等ニ付テノ損害ガアリマシタ場合ニ、所得税或ハ營業收益税ニ對シテ減免税ヲシヤウト云フノデアリマシテ、謂ハバ納税者ノ生活ノ根據ニ於テ非常ナ損害ヲ受ケル、或ハ又其納税者ガ工業ナリ、商業ナリニ從事シテ居ル其營業ノ重要ナル手段ニ付テ大キナ損害ヲ受ケタト云フモノニ對シテ減免税ヲシヤウト云フノデアリマシテ、其點ハ冷害、旱害ニ於テ收穫物ガ穫レナカッタカ、或ハ少クナッタト云フノトハ自ラ性質ガ違フノデアリマス、一方ハ生産手段ニ對シテ相當ナ損

害ガアツタトカ、生産手段ヲ失ッタト云フノデアリマス、旱害、冷害ノ場合ハ生産手段デハナイ、其收穫ヲ失ッタト云フノデアリマシテ、ソコニ性質上ノ差ガアルノデアリマス、旱害、冷害等、風水害以外ノ災厄ニ於キマシテモ土地ヲ荒シテ、土地ナリ生産手段ヲ荒シタ、將來ノ收穫ヲ失ッタトカ、當分ノ收穫ヲ失ッタトカ云フ場合ニ於テハ、是ハ地租法ニ於キマシテ或種ノ免税ト云フヤウナ方法モアルノデアリマス、只今ノ此法案ハ以上申上ゲマシタヤウニ、生産手段ニ付テ重大ナル損害ヲ受ケタモノニ對シテ減免税ヲシヤウト云フノデアリマシテ、冷害、旱害ニ於キマシテ本年非常ナ收穫ガ減ッタトカ、或ハマルキリ穫レナカッタトカ云フヤウナノハ、是ハ所得税ヲ納メテ居ル人デアリマスレバ、當然所得ニ付テソレダケノ査定ヲ受ケルノデアリマスカラ、斯ウ云フ特別法デヤラナクテモ從來ノ所得税ナリ或ハ地租法等ニ依リマシテ其恩典ヲ受ケルコトト思ッテ居ルノデアリマス、ドウカ左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員外議員(菅原通敬君) 今ノ御説明ニ依リマスルト云フト、風水害ニ因ルモノハ生産手段ヲ破壊サレテ居ル、生産要件ヲ失ッテ居ルカラ、其方ノ救済ヲスル趣意デアル、

冷害旱害ノ方ニハサウ云フヤウナ生産手段ト云フヤウナモノヲ破壊サレルニ至ラヌカラ、ソレニハ及ボサナイノデアルト云フコトニナリマス、此立法ノ趣意ハ其生産手段ヲ破壊サレタコトニ因ッテ損失ヲシタト云フモノヲ補填シテヤラウ、救済シテヤラウト云フ方ノ御趣意デ、其現在ノ負擔力ガ無イカラ所得税、營業收益税ト云フモノヲ輕減又ハ免税シテヤルト云フ御趣意デハナイト云フコトニ解サナケレバナラヌヤウニ考ヘマスガ、ドウモ少シ了解シ兼ねルノデアリマス、今少シク水害ニ因ッテ收穫ヲ減ジマシタモノデモ、或ハ荒地ノ如クナツテ土地ガ破壊サレ、サウシテ收穫ガナイト云フ場合モアリマス、水ヲ被ッタモノデ收穫ノ無イト云フモノモアリマセウ、其水ヲ被ッタガ爲ニ稻ガ腐ッテ收穫ガ無クナッタト云フモノニモ適用アルモノト見ラレルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ場合ニ於テハ、冷害旱害等ニ因ッテ收穫ガ皆無ニナツタ場合ト、何等其納税者ノ負擔ニ及ブ關係ハ異ラヌノデアリマス、然ルニ之ガ水害ニ因ル場合ハ輕減又ハ免除セラレ、旱害冷害ノ場合ニ於テハ輕減モ免除モ出來ナイヤウニナリマシタナラバ、其間ニ大ナル不公平ガ生ジハシマスマイカト思ヒマス、水害ニ依ッテ所得税及

營業稅ノ減免ヲナスコト云フノハ、總テ荒地ノヤウナ風ニ土地ガ破壊サレタ場合ニ限ルト云フ趣意デアリマスルカドウカ、伺ヒタイノデアリマス

○政府委員(男爵矢吹省三君) 水害ニ因リマシテ土地ガ荒地ニ化シタ場合デアリマシテモ、ソレガ住宅、家財等ニ何等ノ損害ガナカッタコト云フコトデアリマシタナラバ、此法律ノ適用ハナイノデアリマス、住宅又ハ家財ニ損害ヲ受ケタ場合ニ限ツテ此法律ノ適用ガアルト御承知ヲ願ヒタイノデアリマス、尤モ第二條ニ於キマシテ、營業稅ノ場合其他ノコトモアリマスケレドモ、唯單ニ水害地ニ於キマシテモ、土地ヲ荒サレタト云フダケデアツテハ此法律ノ適用ハナイノデアリマス

○委員外議員(菅原通敬君) 今此命令案ナルモノノ要項ヲ玆ニ御示シ下サツタノデアリマスガ、成程命令ノ定ムル所ニ依リト云フコトニナツテ居リマスカラ、住宅又ハ家財ヲ流失破壊セラレタ場合ニ限ルト云フコトニ制限セラレルコトモアリマセウ、併シ法律ノ上カラ見マスト云フト斯様ナ制限ハナイノデアツテ、私が御尋シタコトモ無理デヤナイト思フノデアリマス、水害ニ罹ツテ家屋家財ガ流失シタ、家屋家財ヲ流失シタノ

モ亦其土地ガ、所有ノ土地ガ流失サレ、荒地ニナツタコト云フヤウナモノモ、殆ド異ルコトハナイノデヤナイカ、矢張り生産基本ト云フモノヲ破壊セラレ流失セラレタコト云フコトニ於テハ、何等異ル所ガナイト思フノデアリマスカラ、矢張り其水害ニ因ル場合ニ於テハ必シモ家財家屋ヲ流失ラセタ場合ニ限ルト云フコトガ如何ナモノデアルカ、サウ制限セラレルコト云フト、甚シク此法律ノ範圍ヲ制限セラレルコトニナルノデアリマス、ソコハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(中島鐵平君) 只今菅原サンノ仰セノ如ク、法律ノ第一條ニハ何等此住宅デアルトカ、家財ノ流失又ハ破壊セラレルト云フ文句ハアリマセスケレドモ、極ク抽象的ニ風水害ニ因ル被害者ト云フコトニ書イテアリマス、ドウ云フモノヲ被害者ト云フカト云フコトハ、是ハ全ク法律ノ表面ニハ現ハレテ居リマセヌノデ、命令ノ規定ニ讓ツテ居ルノデアリマスガ、先刻政務次官カラ御説明ガアリマシタヤウニ、斯ウ云フ場合ニ救済ヲ致シマスノニ付キマシテ、何ヲ捉ヘテ救済ノ目標ニ致シマスカ、被害者ヲ限ル範圍ヲドウ云フ程度ニ極メマスカト云フコトニ付キマシテハ、立法イタシマスニ付キマシテ色々問題ハアルダラウト思フノ

デアリマス、只今菅原サンノ御説ノ如ク立案イタシマスニ付キマシテ色々ソコロノ方面モ熟慮イタシマシテ、慎重研究ヲ遂ゲタノデアリマスガ、御承知ノ通り地租ニ付キマシテハ、既ニ地租法ニ收穫皆無ノ規定或ハ荒地免租ノ規定ナリ、ソレゾレ或程度ノ救済方法ガ講ゼラレテ居ルノデアリマス、然ルニ今度ノヤウナ非常ナ風水害ニ遭ヒマシテ、住宅ヲ破壊サレルトカ或ハ家財ヲ流失シテシマフ、隨分突如トシテサウ云フ災厄ニ出會シマシタニモ拘リマセズ、現行法規ノ下ニハ何等之ヲ救済スル途ハナイノデアリマス、地租法ニ於キマシテモ收穫皆無ト云フコトデナクテハ本來ハ菅原サンノ十分御承知ノ如ク免租ニハナラナイノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ或程度ノ又緩和サレタ行政上ノ扱ヒモ致シテ居ルノデアリマス、今度ノヤウナ災害ニ出會シマシテ、何モ法規上救済ノ途ガナイノデアリマスカラ、特ニ此住宅家財ト云フコトニ著眼イタシマシテ、斯ウ云フ扱ヒヲシ得ル法規ヲ設ケルト云フコトガ、今度ノ災害ニ付キマシテハ適切デハナイカ、ノミナラズ從來ノ關東ノ大震災火災以後ニ於キマス數次ノ災害ノ實例ニ鑑ミマシテモ、矢張り住宅家財ト云フコトヲ大體ノ目處ニ致シマシテ、斯ウ云

フ風ナ租税ノ減免ヲ致シテ參ツタ實例ガアルノデアリマス、旁、ソコロヲ考慮イタシマシテ、斯ウ云フ法案ヲ提案イタシタノデアリマス、御説ノ如ク原因ノ何タルヲ問ハズ、其處ニ擔稅力ヲ失ツタコト云フ結果ガ現ハレレバ、水害カラ來ヤウガ、旱害カラ來ヤウガ、冷害カラ來ヤウガ、荒地ニ於テハ共通シタソコニ何ガアルノデアリマスケレドモガ、ソコハ從來ノ先例及ビ今日ノ風水害ノ實情ニ鑑ミマシテ、斯ウ云フ風ニ立案シタノデアリマス、最モ是ハ省令ニ委セヤウト思ヒマスカラ、法律ノ表面カラ必シモソレニ限ツテ居ナイノデアリマスガ、政府ノ大體ノ心ト致シマシテ、先刻來政務次官ノ御説明ノヤウニ、サウ云フ省令ヲ規定スル積リデアリマス

○委員外議員(菅原通敬君) 收穫皆無ニ化シタル田畑ノ地租ノ免除ニ對スルコトニ付テハ別ニ後カラ御尋シタイト思ヒマスガ、兎モ角今御話ノ中ニモアリマシタ通り、所得稅ナリ收益稅ナリ、其所得若クハ收益ヲ減ジ、其負擔力ノ缺ケテ來タモノニ對シテ救済ヲ圖ルト云フコトデアアルナラバ、此原因ノ何タルトヲ問ハズ、公平ニヤツテ行カナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマシテ、先例モ斯ウアルカラト云ハレマスガ、

先例ハ必シモ正シイコトデハナイノデアリマス、此度ノ如キ、殊ニ冷害旱害ト云フヤウナモノハ、今マデニ無イ非常ニ激烈ナ甚大ナモノデアアルノデアリマシテ、此場合ニ於テ斯様ナ災害ニ因ツテ所得若クハ收益ニ非常ナル減損ヲ生ジ來タルト云フヤウナ場合ニ付テハ、單ニ所得税法ナリ收益税法ナリニ依ル減損ノ規定ト云フヤウナモノニ止マラズ、更ニ矢張り特別立法ヲセラルベキガ必要デアツテ、而モ他ノ風水害ノ場合ニ於テハ其特別立法ヲサレ、救助サレ、而シテ冷害旱害等ニ因ルモノハソレヲ除外セラレト云フコトハ、甚ダ私ハ公平ヲ失スルモノデアルト思フノデアリマス、單ニ風水害ニノミ限ルト云フコトガドウシテモ理論トシテハ正シクナイヤウニ思フノデアリマス、其以上ハ議論ニナルコトデアリマスカラ私トシテハ申上ゲマセヌガ、更ニ一考ヲシテ戴クコトガ出來得ルモノデアリマセウカ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 菅原サンノ御承知ノヤウニ、地方農村ニ於キマシテハ營業稅ト云フモノハ勿論ナイノデアリマスカラ、第三種所得稅モ納稅者ノ數ハ至ッテ少ナイノデアリマス、而シテ其納稅者ガ收穫ヲ失ヒ、或ハ非常ニ減ジタト云フ場合ニ於キマシテハ、當然其所得金額ノ査定ノ上

ニ於テソレダケハ引カレルノデゴザイマスルカラ、特ニ此法律ナクモ現在ノ法規ノ上ニ於テ斯カル場合ニ於テ税法上、其收穫ノ減ツタダケノ處置ハ執レルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレダケ尙ホ不十分ダト云フ思召シナンデアリマセウガ、一ト通り斯克我々ハ考ヘテ居リマス

○委員外議員(菅原通敬君) 風水害ニ因ル場合ニ於テモ、其害ニ因ツテ所得ヲ失ヒ、ソレカラ收益ヲ失ツタ場合ニハ、當然輕減セラルルコトハモウ何等異ツタコトガナイノデアリマス、ソレダケノ所得ヲ減ジ、ソレダケノ收益ヲ減ジ、或ハ無クナツタト言ヘバ、事實ソレハ輕減ニナリ免除ニナルコトデアラウト思フノデアリマス、詰リソレダケノ負擔ハ免レルコトニナル、茲ニ特別ナ立法ヲセラレタト云フノハ、今度ノ風水害ト云フノハ先トハ異ルカラ更ニ特別ナル手段ヲ執ラウ、斯ウ云フコトデアリマス、サウスルト云フト今度ノ冷害旱害ノ如キモ異常ナル事柄デアアルカラ、ソレニ對スル特別ナル立法ヲシテ、救済ヲスルト云フコトニナラナケレバナラヌモノデヤナイカト云フノガ私ノ趣意デアアルノデアリマス、然ラザレバ單ニ課稅ノ輕減トカ、免稅トカ云フコトデナイ、御話ニナツタ家財ナリ或ハ住宅ナリト

云フモノノ流失、破壊ヲソレニ依ツテ償ツテヤルンダ、國ガ償ツテヤルンダト云フヤウナ趣意ニシカ、是ガナラヌヤウニナツテシマフ、サウ云フコトハ一體税法ノ輕減免除ノ場合ニ考ヘルベキ事デナイト思フノデアリマス、範圍ヲ超エテ居ルモノデナイカト思フ、ソレカラ收穫皆無ノ土地ニ付テハ、土地ノ收穫皆無ニナツタ場合ニハ地租ヲ免除シテヤルト云フコトニナツテ居ルカラト云フコトデアリマスガ、縱令地租ハ免ゼラレテモ、矢張り所得稅ニ付テハ特別ナル此規定ニ據ツテ恩典ヲ受ケルコトハ出來ナイ、收益稅デアルト云フト、收益稅ニ於テ輕減サレ、尙ホ其結果所得稅ニ於テモ輕減ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナル譯デアリマス、其場合ニ於テ地租ト云フモノノ營業收益稅トノ間ニ權衡ヲ失フコトニナリハセヌカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマス、其點ハドウナリマセウカ、其處ヲ御尋イタシマス

○政府委員(石渡莊太郎君) 御答イタシマス、第一ノ點ニ於キマシテ既ニ御了解ヲ得ラレタコトト思フノデゴザイマスルガ、風水害ノ被害デアリマシテモ、亦旱害デアリマシテモ、此住宅、家財等ニ付テ大キナ損害ヲ受ケナイト云フ者ノ取扱方ハ是ハ同様デゴザイマス、何等ノ恩典モゴザイマセヌ、

從ヒマシテ今回ノ風水害ノ被害者ダケヲ、其點ニ付キマシテ特別ニ優遇イタシテ居ル譯デハザイマセヌ、唯此住宅ト家財ト云フヤウナ生活ノ根據ニ付テ非常ナル損害ヲ受ケタト云フ者ニ付テハ、甚ダ其者ハ此際税金ヲ納メルニ付テ御困リダラウト、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、從來サウ云フ被害者ニ對スル所ノ減免稅ヲ致シ來ツタ譯デゴザイマシテ、今回モ主ト致シマシテ、大阪ヲ中心ト致シマシタアノ水ニ遭ヒマシタ被害者、家ヲ流サレテシマッタト云フヤウナ被害者ヲ、主トシテ中心ニ致シマシタ所ノ損害者ニ付テノ輕減ニ對スル法律案デゴザイマス、從ヒマシテ住宅、家財等ノ損害ノ著シクナイ者ニ付キマシテハ、是ハ旱害、冷害、風水害共何レモ同様ナ扱ヒデアリマシテ、所得ノ減リマシタ者ニ付キマシテハ、今日ノ減損更訂ノ規定デ以テ行ク積リデゴザイマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ營業者ト

田畑所有者トノ間ニ於テノ不公平ハナカラウカト云フ御尋デゴザイマスルガ、此住宅、家財ヲ破壊セラレマシタ者ニ付キマシテハ、田畑ノ所有者デアリマシテモ亦營業所得者デアリマシテモ同様ニ輕減、免除ハ致シマス、水ノ爲ニ家ヲ流サレタ所ノ人達ノ中ニハ農家モ相當ゴザイマス、ソレラニ付キマ

シテハ免除イタシマス同時ニ、一方ニ付
キマシテハ、田畑ニ於キマシテハ收穫皆無、
又ハ荒地ニ於キマシテハ免租イタシマス、
營業所得ニ付キマシテハ……營業ノ純益ニ

害地ヲ廻リマシテ、十分免租ノ行渡ルヤウ
ナ施設ヲ講ジマシタ次第デゴザイマス、左
様ドウゾ御諒承アラムコトヲ願ヒマス

○委員外議員(菅原通敬君) 色々御説明デ

付キマシテハ、損害ヲ其營業ノ根本ニ受ケ
タ者ニ付キマシテハ、此立法ニ於キマシテ
處置イタスコトガ出來ルコトニ相成ッテ居
リマス、詰リ收穫皆無地又ハ荒地等ノ規定
ガ、營業收益税ニ於キマシテ、多少斯ウ云
フ災害ニブツカリマシタ場合ニ於キマシテ
ハ、救済ノ出來兼ネル點ガアルノデアリマ
シテ、一方地租ニ付テハ恒久法ニナッテ居リ、
一方ニ於キマシテハ斯ウ云フヤウナ立法ヲ
致サナケレバ救済ガ出來ナイト云フ點ガゴ
ザイマスノデ、本案ヲ提出イタシマシタ所
以デゴザイマシテ、此間ニ於キマシテサウ
格別不公平ナコトハナカラウカト、斯ウ考
ヘテ居リマス次第デゴザイマス、本年ニ於
キマシテ旱害地、冷害地ニ於キマシテ免租
イタシマスル地租額ハ、隨分是ハ大キナモ
ノデゴザイマシテ、本法ニ據リマスル所得
税、營業收益税ヨリハ數十萬ハ多カラウト
斯ウ思ッテ居リマス、決シテ田畑ノ冷害、旱
害ニ付キマシテ、大藏省ハ之ヲ輕視イタシテ
居ル譯デハゴザイマセヌ、十分主税局トシ
マシテモ人ヲ派シマシテ、各地ノ冷害、旱

アリマスルケレドモ、ドウモ私ハ冷害、旱
害ヲ除外セラレタ理由ヲ十分納得シテ伺フ
コトガ出來マセヌデス、如何ニモ不公平ナ
立法デアルト云フコトヲ、私ハ斷言イタシ
タイノデアリマス、ソレカラ次ニ、田畑
ニ付テハ、收穫ノ皆無ニナッタ場合ニ
於テ、免租スルコトニナッテ居ルト云フ
コトデアリマスガ、ソレハ災害ノ如何
ヲ問ハズ、冷害デモ、旱害デモ、無論水害
デモ、總テ收穫皆無ニ陥ッタ場合ニ於テハ
免除セラレルコトニナッテ居リマスガ、私茲
ニ伺ッテ置キタイノハ、收穫皆無ニ屬シタル
土地ト云フコトニナッテ居リマス、ソレハ先
程主税局長カラモ收穫皆無ト言ッテ居ルガ、
其間ニハ大分手心ヲ加ヘテ寛大ニヤッテ居
ルト云フ御説明デアリマシタ、其通りデア
ラウト思ヒマスルガ、是迄ノ例ニ依リマスル
ト云フト、收穫ノ七分未満ノモノハマア皆
無ト見ルト云フヤウニ取扱ハレテ居ルヤウ
ニ承知シテ居ルノデアリマス、是ハモウ少
シ其收穫皆無ト見ル範圍ヲ擴大セラルル方
ガ今日ノ時ニ適フノデヤナイカト云フヤウ

ニ考ヘルノデアリマス、實ハ私ノ考ヘデハ
此收穫皆無ト云フ文字ガ今ノ地租法ニ殘サ
レタコトガ、ドウモ地租法ノ立法ノ趣意カ
ラ考ヘルト云フト餘リ適當シテハ居ラナ
カッタ、デ收穫皆無ト云フ文字ノ出タノハ地
租條例ノ當時出來タ言葉デアリマシテ、地
租條例ハ御承知ノ通り年ノ豐凶ニ因リマシ
テ地租ト云フモノハ増減シナイト云フコト
ヲ原則トシテ居ッタノデアアル、サウ云フ場合
デアリマスカラ地租ヲ免除スルト云フ名義
ヲ付ケルニ付テハ、其年ノ收穫ガ全ク無カッ
タト云フコトデナケレバ理論ガ適ハヌト云
フノデ、收穫皆無ト云フヤウナ文字ヲ用ヒ
タモノデアルト承知シテ居ルノデアリマ
ス、即チ地租條例ノ下ニ於テハ、地租ト云
フモノハ土地ニ對スル條件税デアアル、土地
ニ對シテハ地租ト云フ一定ノ確定税ヲ課ス
ルト云フヤウナ、サウ云フ時代ノ思想ニ出
テ居ルノデアリマス、所ガ今ノ地租法ト云
フモノハ收益税ニソレガ變ッテ來テ居ルノ
デアリマスカラ、恰モ物件税ハ人税見タイ
ノモノニナッテシマッテ居ルノデアリマス、
ト云フコトニナリマスルト云フト其前ノ地
租條例時代ノ思想デ出來タ收穫皆無ト云フ
ヤウナ文字ハ、ドウモ其今ノ地租法ノ思想
トハ一致シナイモノノヤウニ考ヘルノデア

リマス、デアリマスカラ收穫皆無ニ屬シタ
場合ト云フノハマルデ文字ニ適ハナイヤウ
ナ實際ノ施行ヲシナケレバナナイヤウニ
ナルノデアリマス、寧ロ收穫皆無ト云フヤ
ウナ文字ハ他ノ適當ナル言葉ニ變ヘルノガ
相當デアッテラウト思フノデアリマス、收穫
皆無ト云フ文字ガアリマス爲ニ、中央政府
ニ於テハ只今御話ノ通り成ルベク寛大ノ措
置ヲ施行サセヤウト云フコトヲ考ヘテ居ラ
レマシテモ、實際ニ之ヲ検査スル場合ニ於テハ、
必ズシモ其通りハ行ッテ居ラナイ、三分デモ二
分半デモ收穫ガアレバ收穫ガアルデヤナイカ
ト云ッタヤウナ、隨分細カイ理窟ヲ竝ベテ爭フ
ヤウナコトガアルヤニ聞イテ居ル、ソレデ
ヤ寧ロ今日ノ時代思想カラ申スナラバ、又
通念カラ言ッタナラバ、收穫ノ先ヅ半分、半
作以下位ハ地租ヲ免除スルコトニナッテ居ル
ノガ相當デハナイカト思ヒマス、今度ノ政
府ガ提案サレタ米ノ交付ノ法案ニ於テモ、
收穫ガ半作以内ノ場合ニ於テハト云フヤウ
ナコトナドモ掲ゲラレテ居ルヤウナコトデ
アリマス、デアリマスカラモウ半作以下ノ
ヤウナ場合ニ於テハ……平年作ニ對シテ半
作以下ノヤウナ場合ニ於テハ免租スル、免
除スルト云フ位ニ考ヘラレテ然ルベキモノ
デハナイカト思フノデアリマスガ、收穫皆

無ト云フ文字ヲ改メルヤ否ヤノ問題ハ是ハ別デアリマスガ、今度ノ此場合ニ於ケル取扱ヒ、又將來ニ於テモ同ジデアリマスガ、半作以下位ノモノハ免租スルト云フ考デ御施行シテ戴クコトハ出來ナイモノデアリマスカ、其點ヲ私伺フノデアリマス

○政府委員(中島鐵平君) 本年ノ災害ハ御承知ノ通り殆ド未曾有トモ言ハレテ居リマシテ、而モ其範圍ガ全國的ニ跨リテ居リマシテ、各種ノ農作物ニ對シマシテ非常ナ被害ヲ蒙リ、全國ニ互リマシテ收穫ガ減少シテ居ルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、誠ニ政府ト致シマシテモ同情イタシテ居ルノデアリマス、只今菅原サンカラ收穫皆無ト云フ文句ニ付テノ御話モアリマシタガ、之ニ關シマスル地租法ノ從來ノ沿革其他ニ付キマシテハ、私共ヨリモ菅原サンガ最モ能ク御通曉ニナッテ居リマシテ、此收穫皆無ト云フ文句ガアルニ拘ラズ、或程度ノ行政上ノ緩和的ノ取扱ヲナスコトニ付キマシテモ、菅原サンガ十分御了知ノコト思フノデアリマス、併ナガラ一方カラ考ヘテ見マシタルト云フト、法律ノ文句ニ矢張り收穫皆無ト云フコトヲ使ッテモ居リマス、又從來ノ沿革カラ行キマシテモサウ無理ナコトヲ稅ノ方デヤッテ居ルト思ヘナイノデアリマスカラ、

今年ニ限りマシテ從來ノ行政上ノ此慣例ニナッテ居リマス程度ヲ超エマシテ、茲ニ五分作以下ハ收穫皆無ト認メルトカ、或ハ四分作マデハドウダト云フヤウナコトヲ判然ト明言スル譯ニハ行カヌカト思ッテ居リマス、只今ノ地租法ノ收穫皆無ト云フコトガ行キ過ギタ文句デアッテ實情ニ副ヘナイ、謂ハバ有名無實ノ文句ヲ掲ゲテ居ルト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、是ハ矢張り別個ノ地租法ノ問題トシテ相當研究ヲセナクチャナラヌコトデハナイカト思フノデアリマス、唯當面ノ問題ト致シマシテ、今度ノ災害地ニ對シテドウ云フ風ナ扱ヒヲ稅務關係デヤリマスカト云フト、矢張り從來收穫皆無ト云フコトヲ實際運用イタシマス上ニ於テ、ドウ云フ運用ノ仕方ヲシテ居ツタカ、其程度ヲ基準ト致シマシテ、今年ノ此深刻ナル災害ノ實情ニ鑑ミマシテ、適當ニ無理ノ行カナイヤウニ執行スルヨリ外ニハナイカト思ヒマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員外議員(菅原通敬君) ソレデハ矢張り從來ノ通り收穫皆無ト認メルノハ七分作未滿ト云フモノニ限ラレルヤウニ解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(中島鐵平君) 實ハ菅原サン御

承知ノ如ク、明治三十八年デアリマシタカト思ヒマスガ、主稅局カラ内牒ヲ出サレマシテ、一般ニ或程度ノ緩和シタ扱ヒヲナサレルヤウニナッテデアリマスガ、三分作程度ノモノマデハ收穫皆無ト認メルト云フヤウナ大體ノ、極ク大體ノ基準ヲ示シテ居ラレマシテ、今日マデ場合々々ニ依ッテ支障ナク運用シテ參ツタノデアリマスガ、其三分作程度ノモノマデト云フコトハ極ク大體ノ標準デアリマスカラ、是ハ矢張り私ハ其時ノ實情ニ應ジマシテ、又法律ノ立法ノ精神ニモサウ悖ラナイデ、適當ニ中庸ヲ得タ安當ナ取扱ヲヤッテ行クベキモノダト思フノデアリマス、今年ノ災害ニ付キマシテハ先刻カラ申シマスヤウニ、非常ナ深刻ナル災害デアリマスカラ、大藏省ト致シマシテハ能ク其實情ニ適應イタシマシテ、機宜ナ扱ヒヲシテ行クト云フコトニ通牒イタシタイ、斯ウ云フ風ニ思ッテ居リマスカラ、只今四分トカ三分トカ云フ數字ヲ擧ゲマシテ、其限度ヲ此場合明確ニ御答イタシテ置ク譯ニイカヌカト思ヒマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○委員外議員(菅原通敬君) 能クオ腹ノ中ガ讀メタノデアリマス、要スルニ二分作トカ云フヤウナ、サウ云フ窮屈ナ扱ヒトハセズ

シテ、成ルベク寛大ナ餘裕ノアル、實情ニ適シタル施行ヲサセルコトニシヤウ、斯ウ云フ御趣意ト解シマシタ、其事ハ能ク諒承イタシマシタ、私此地方ノ方ヘ參ツタノデアリマスガ、御承知ノ通り東北ノ方ハ早ク稻ヲ刈取ラナケレバナラヌヤウナ狀況ニナッテ居ルノデアリマス、現狀ノ存スル間ニ於テ申請ヲシテ審査ヲ受ケナケレバナラナイト云フヤウナコトデアリマスガ、其現狀ヲ存スルコトガ出來ズシテ、モウ刈リ終ツタモノナドガ大分アツタノデアリマス、或ハ或部分ヲ殘シテ置イテ、他ヲ刈取ツタモノモアリマスガ、全ク三分作デアルカ、四分作デアルカ、五分作デアルカ、ソレガチヨット證據ヲ殘スコトガ出來ナイデ皆刈取ツテシマツタモノガアツテ、後カラソレヲ稅務署ニ申請シタ所ガ、モウ刈取ツテシマツタノデ分ラヌト云フヤウナコトデア付ケラレナカッタト云フヤウナコトナドガアルト云フコトデ、大分苦情ガ度々私ノ方ニ持ッテ來タモノモアリマス、斯ウ云フヤウナモノモ地方ニハ多少、往々ニシテアルダラウト思フノデアリマス、ソレ等ノ點ナドモ餘程寛大ニ見テ戴イテ、成程此地形、斯ウ云フヤウナ狀況デアッタナラバ、他カラ類推シテモ、此處ハサウ收穫ガナカッタ

モノデアルト云フ位ノ認定ラシテ戴クコトガ出來ルヤウニ扱ハレテ戴キタイト思ヒマス、其希望ヲ申上ゲマシテ、私ノ質問ヲ終リマス

○委員長(子爵曾我祐邦君) モウ御質問モナイヤウデゴザイマスガ、此儘引續キマシテ討論ニ入りマシテ差支ヘゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐邦君) 御異議ナイト認メマス、只今カラ討論ニ移リマス

○子爵野村益三君 只今迄ノ質疑應答ニ依リマシテ本案ノ内容ガ能ク分リマシタ、言フ迄モナイ今回ノ災害ハ、從來曾テ無カリシ所デ、ソレニ對スル方法手段ハ各方面カラ講ゼラレムトシツツアルノデアリマス、本法モ亦其一ツデ、斯様ナ非常時ニ對シテ適法ノ處置ト認メラレルノデアリマス、私ハ本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス

○岡喜七郎君 私モ本案ニ付キマシテハ賛成ノ意見ヲ表シマス、只今仰セニナリマシタ如ク、今回ノ災害ハ全國ニ亘ッテ未曾有ナ慘狀ヲ極メテ居ルコトデアリマスルカラ、政府ニ於カレテハ色ミナ方面ヨリ之ヲ救済サレルコトニ御留意ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、同時ニ又折角斯ウ云フ法律ガ出來マシテモ、兎角此扱ヒ方ナドガ非常ニ繁雜

ニ互リマシテ、或ハ時機ヲ失シ時日ヲ費スト云フヤウナコトガ、兎角取扱上多イノデアリマス、願クハ斯ウ云フ法案ガ出來マシタナラバ、此扱ハレ方ハ成ルベク簡略ニ、成ルベク速ニ折角ノ法案ヲ活カシテ使ハレルヤウニ致サレタイト考ヘマス、其邊ハ申ス迄モナク御留意ノアル所デアラウトハ考ヘマスガ、是非共成ルベク簡ニ成ルベク速ニト云フコトノ趣意ヲ徹底スルヤウニ下僚ニ御注意ヲ願ッテ、本案ニ賛成ノ意見ヲ表シマス

○山本米三君 私モ本案ニ賛成ヲ致シマスガ、先刻チヨット質疑ヲ申上ゲマシテ御返答ヲ得マシタ山林ノ被害ニ付キマシテ、十分ノ考慮ヲ拂ハレマシテ、本法ノ最モ施行セラレムコトラバ希望スル次第デアリマス

○委員長(子爵曾我祐邦君) 只今迄ハ段々ト本案ノ餘儀ナキモノデアルト云フコトニ付テ色々希望條項ヲ加ヘラレ、討論ニ入りマシテカラハ御賛成ノ意見ノ發表ガ御三方ゴザイマシタ、反對ノ御意見ノ方ハゴザイマセヌカ……無イト認メマス、就キマシテハ討論ハ是デ終リマス、直ニ採決ニ入りタイト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(子爵曾我祐邦君) 御異議ガナイ

モノト認メマス 今回ノ此法案ノ風水害ニ因ル被害者ニ對スル租税ノ減免猶豫等ニ關スル法律案ト云フ、此法律案ノ題目ヲ含ミマシテ、原案全部、原案通りデ差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵曾我祐邦君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ委員會ハ終了イタシマシタ

午前十一時四十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵曾我 祐邦君
副委員長 男爵松岡 均平君
委員

公爵山縣 有道君
侯爵松平 康昌君
伯爵樺山 愛輔君
子爵野村 益三君
子爵裏松 友光君
岡 喜七郎君
男爵松平外與麿君
男爵本多 政樹君
西野 元君
三木與吉郎君
山本 米三君
野村 德七君

委員外議員 山上 岩二君
菅原 通敏君
政府委員

大藏政務次官 男爵矢吹 省三君
大藏省主税局長 中島 鐵平君
大藏書記官 石渡莊太郎君